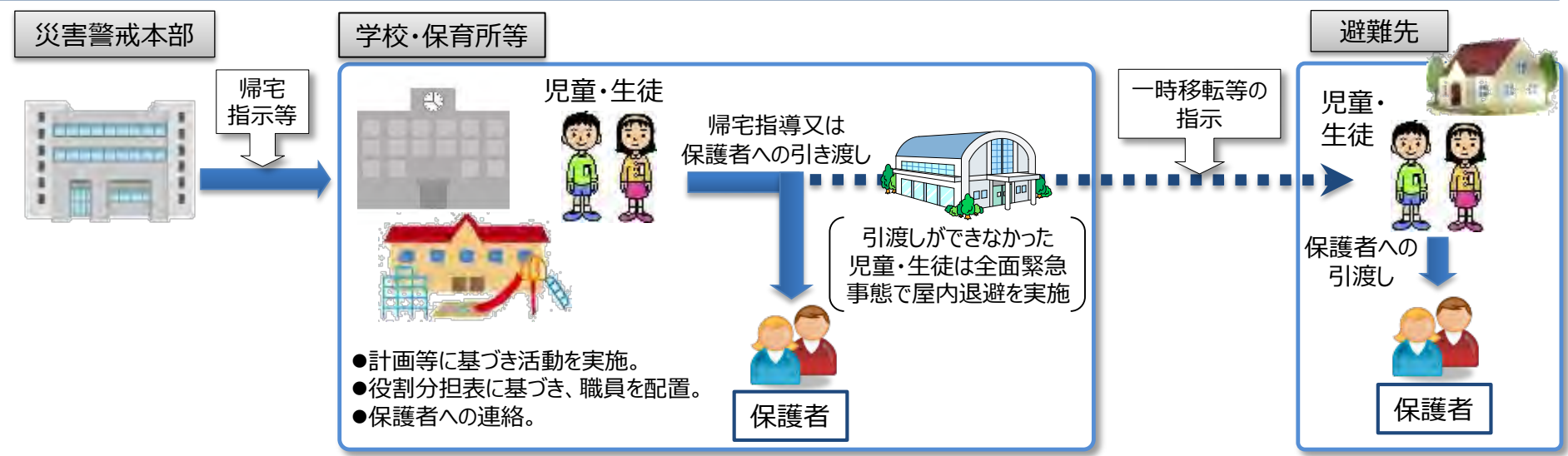


佐賀県、長崎県、福岡県のUPZ内の学校・保育所等の防護措置

- 佐賀県、長崎県、福岡県及び関係市町では、警戒事態でUPZ内の学校・保育所等の児童・生徒の帰宅、もしくは保護者への引き渡しを開始。
- 学校・保育所等は、計画等に基づき、児童・生徒の帰宅指導や保護者への引渡しを実施。引渡しができなかった児童・生徒は、全面緊急事態で屋内退避を実施。
- 学校・保育所等は、児童・生徒の帰宅状況や屋内退避状況について、随時、災害対策本部と連携を図る。



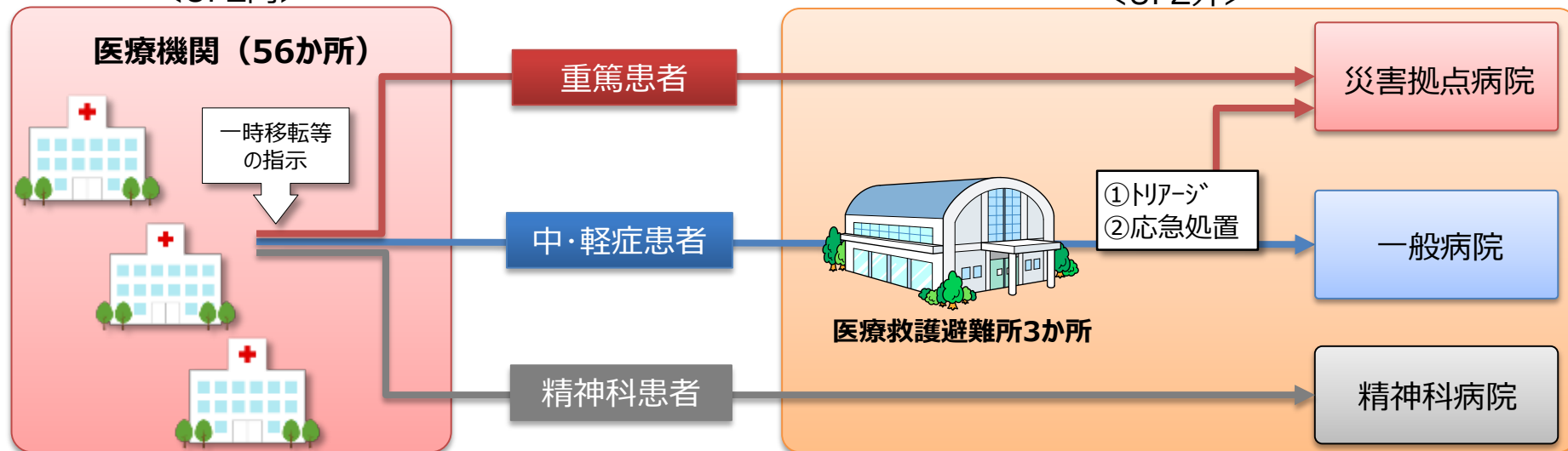
UPZ内の 教育機関数	佐賀県		長崎県		福岡県		合計	
	教育機関数	児童・生徒数	教育機関数	児童・生徒数	教育機関数	児童・生徒数	教育機関数	児童・生徒数
保育所・幼稚園等	96	6,953人	41	2,010人	6	409人	143	9,372人
小学校	49	9,695人	26	3,086人	4	700人	79	13,481人
中学校	27	5,016人	15	1,584人	4	745人	46	7,345人
義務教育学校	2	629人	-	-	-	-	2	629人
高等学校	12	5,101人	3	917人	-	-	15	6,018人
特別支援学校	3	259人	1	15人	-	-	4	274人
合 計	189	27,653人	86	7,612人	14	1,854人	289	37,119人

佐賀県における医療機関の受入先確保のための調整システム

- 佐賀県では、UPZ内にある全ての医療機関(56施設3,470人)において、個別の避難計画を策定し、避難先を確保済み。
- 一時移転等の防護措置が必要になった場合、医療機関の避難計画に基づき、佐賀県が調整し、重篤患者は災害拠点病院へ、精神科患者は精神科病院へ、中軽症患者は県が指定する医療救護避難所へ移動し、その後、受入れ先となる医療機関へ搬送。
- 受入先は、受入先確保のマッチングフローに基づき、佐賀県が県内の医療機関と調整して確保するほか、必要に応じて、長崎県・福岡県に受入先確保の協力を依頼し、各県の医療機関の中から受入先を確保。

<UPZ内>

<UPZ外>



UPZ内	施設区分	施設数	入所定員
	医療機関（病院・有床診療所）	56か所	3,470人

UPZ外	受入候補施設数	受入可能人数
	282か所	3,787人

受入先確保のマッチングフロー

① 一時移転等の指示が見込まれる段階で、県は避難先候補医療機関に対し、避難の受入れを要請し、調整の上、避難先を確保。

①' また県は自県内での受入れが困難な場合など、必要に応じて、長崎県及び福岡県に対しても受入先確保の協力依頼を行う。

② 県は、避難元医療機関に対し、避難先医療機関及び避難ルート等を連絡

③ 一時移転等の実施

- ▶ 長崎県では、UPZ内にある全ての医療機関(21施設1,620人)において、個別の避難計画を策定し、避難先を確保済み。
- ▶ 一時移転等の防護措置が必要になった場合、医療機関の避難計画に基づき、長崎県が調整し、重篤患者の受入可能病院を選定するとともに、精神科患者及びそれ以外の入院患者については、あらかじめ選定された市町の医療機関の中から受入先を選定。
- ▶ 受入先は、受入先確保のマッチングフローに基づき、長崎県が県内の医療機関と調整して確保。

<UPZ内>

医療機関 (21か所)

一時移転等の指示

重篤患者

中・軽症患者

精神科患者

<UPZ外>

災害拠点病院から受入可能病院を選定

ひがしそのぎくん
東彼杵郡内の医療機関 他4市1郡
(松浦市の住民を対象)

させほし ひらどし
佐世保市・平戸市内の医療機関
(佐世保市・平戸市の住民を対象)

いきし
壱岐市内の医療機関 他4市2郡
(壱岐市の住民を対象)

させほし ささちよう ひがしそのぎくん おおむらし いさはやし
佐世保市・佐々町、東彼杵郡、大村市、諫早市、
西海市、長崎市、西彼杵郡の医療機関

UPZ内

施設区分

施設数

入所定員

医療機関 (病院・有床診療所) 21か所 1,620人

UPZ外

受入候補施設数

受入可能人数

358か所 2,002人

受入先確保のマッチングフロー

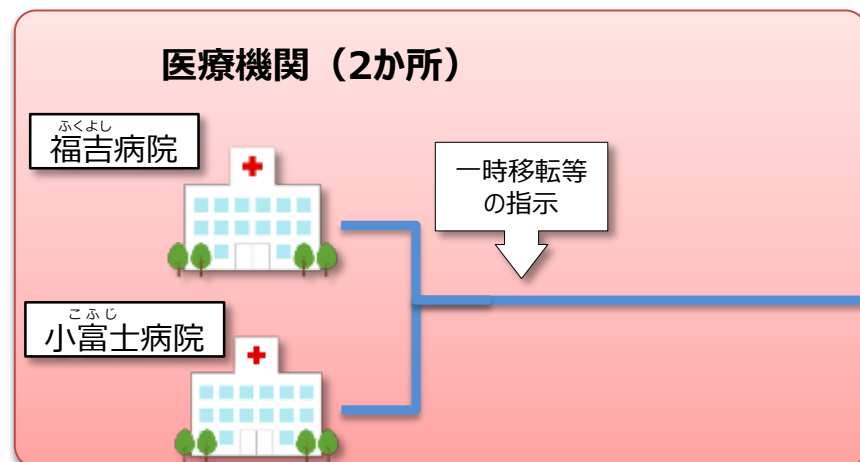
① 一時移転等の指示が見込まれる段階で、救急医療情報システム等を活用し、避難先を調整し、避難先の情報を避難元に連絡。(避難元から県に対し、必要に応じ、車両等の手配を依頼し、県は、関係機関に依頼。)

② 県は、救急医療情報システム等を活用し、避難先へ受入れの準備を依頼。

③ 一時移転等の実施

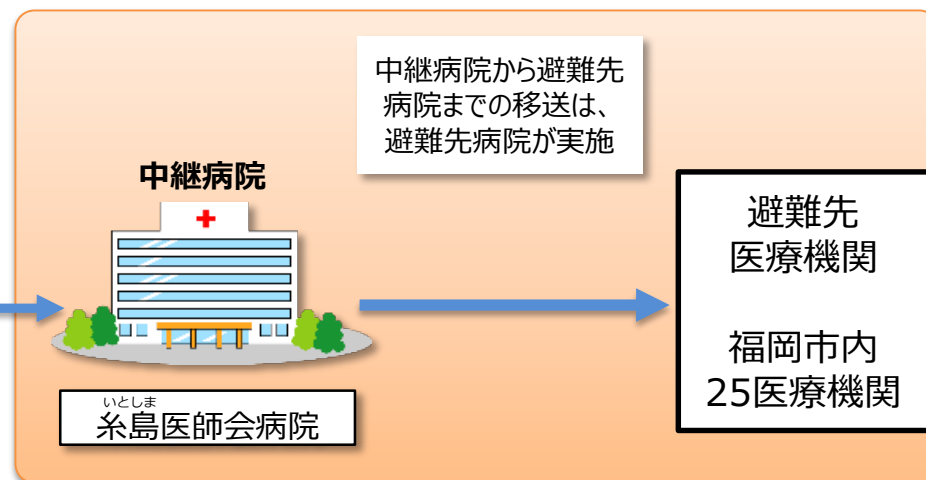
- 福岡県では、UPZ内にある全ての医療機関（2施設115人）において、個別の避難計画を作成し、避難先を確保済み。
- 一時移転等の防護措置が必要になった場合、医療機関の避難計画に基づき、中継病院を経由して避難先医療機関へ移送。
- 何らかの事情で、あらかじめ選定した避難先医療機関が使用できない場合等には、福岡県が受入れ先を調整。

<UPZ内>



UPZ内	施設区分	施設数	入所定員
	医療機関（病院）	2か所	115人

<UPZ外>



UPZ外	受入候補施設数	受入可能人数
	25か所	121人

受入先確保のマッチングフロー

